

令和7年度富山県への要望事項

令和6年8月29日(木):岡本会長から富山県厚生部長へ提出

富山県看護協会は、県民の健康と福祉に貢献する看護職能団体としての使命を果たすため、富山県知事あての下記要望を岡本会長から有賀厚生部長へ提出しました。

(看護協会出席者：岡本会長、中島副会長、渋谷副会長、吉田専務理事、藤井常任理事、大川事務局長)

I 看護の質向上

1 看護職の生涯学習支援のための研修体系の構築

行政機関、教育機関、医療・介護・障害・在宅の実践現場、看護協会の代表者等による検討委員会を立ち上げ、県内の生涯学習の実態把握・課題抽出を行っていただきたい。

2 富山県立大学における看護職リカレント教育の整備

県内の社会的ニーズや政策課題に応じて、認定看護管理者(サードレベル)や心不全看護、認知症看護、緩和ケアの認定看護師教育課程を開講いただきたい。

3 訪問看護師と病院に所属する専門性の高い看護師との連携促進

県内外における好事例の集積や横展開につながる試行事業を、県において実施いただきたい。



岡本会長から有賀厚生部長へ要望書提出

II 働き方改革の推進

1 「勤務環境改善チャレンジ枠」等の創設

仮眠環境改善に効果の高い設備や看護DX等の導入支援など、新たな県補助制度を創設いただきたい。

2 ナースセンターにおける看護補助者の確保・定着に係る経費の確保

看護補助者の就業支援に係る業務が滞ることのないよう、必要な経費を確保いただきたい。

3 訪問看護における利用者や家族からの暴力・ハラスメント対策

県において早急に予算化されるとともに、対象となる訪問看護事業所にしっかり周知いただきたい。

4 プラチナナースの就業を支援する専用相談窓口やバンクの開設

5 子育て支援(学童保育、延長保育、病児保育、夜間保育等)の充実

III 看護領域の開発・展開

1 産後ケア事業及び妊婦等包括相談支援事業等への助産師の積極的活用

医療機関等に働く助産師の積極的活用を検討いただきたい。

2 訪問看護事業所における若手看護職員の確保・育成

3 災害・感染症への対応力の強化

受援力強化や専門・認定看護師の派遣等を検討いただきたい。

4 看多機事業所の整備と組織化への支援

5 医療的ケア児への支援充実のための看護職の確保・育成



県厚生部長室での要望・意見交換

詳しい内容は富山県看護協会ホームページ（事務局からのお知らせ）をご覧ください